

【基本方針】

「利用者、ケアマネジャー、地域に選ばれるデイサービスを目指す」

【年間目標】

- ① 事故、ヒヤリハットを低減し、事故「0」を目指す
- ② 接遇技術や介護技術の安定を図り、介護の質を高める
- ③ 1日平均利用者数32名以上を維持する
- ④ 快適に過ごせる環境を作り、活動の質を高める
- ⑤ 職員同士の意見が活発に飛び交う職場環境を整える

【実践計画】

- ① 事故、ヒヤリハットを低減し、事故「0」を目指す
 - ・利用者や第三者が見ても、安心して安定した介護技術を提供できるよう、2か月に1回職員への介護技術（食事支援、入浴支援、排泄支援）について研修を行う。食事については、主に食事形態と嚥下機能について、入浴に関しては、浴室での歩行介助、中間浴ストレッチャーへの移動介助について、排泄に関しては、ベット上でのオムツ交換、トイレ内での立位保持ズボンの上げ下ろし介助等の個別事例を交えての介助方法の研修を重点的に行う
 - ・利用者立位時の付き添いの徹底を行うため、日々の現場で職員一人一人が声を掛け合う事ができるよう、該当する場面で声を掛け合っていない状況を発見した場合には、管理者が中心となって注意を行い、上半期中にはどの職員も声を掛け合う事ができるようになる
 - ・毎日の朝礼終礼時には、当日あった出来事（介護事故、車両事故）を必ず話し合い毎月1回の会議時には、その事故についての検証を行い、利用者の心身状況に応じたリスクや起因しやすいであろう事故を予見した形で情報共有を図り、適宜各職員が意識しているかを確認する
- ② 接遇技術や介護技術の安定を図り、介護の質を高める
 - ・デイサービスを気持ちよく利用していただけるよう、利用者に対して車両から降車する際には、お出迎えの挨拶を笑顔で行い、お帰り乗車時には車両が見えなくなるまでのお見送りを徹底し、どの職員も同じ対応を上半期中には出来るようになる
 - ・職員同士が接遇技術、介護技術の質の向上を意識できるよう、年間を通じ、管理者が中心となって日常業務内で、先輩が後輩を指導する場面を多く作るよう努める。
- ③ 1日平均利用者数32名以上を維持する
 - ・日々の挨拶やレクリエーション、カラオケ等の活動の中で、職員が利用者間の仲立となり、その中で個々の話を傾聴する時間を1日合計10分以上は持つようにし、利用者個人のニーズの把握を行う。把握した内容がデイサービスで叶える事ができる事であれば、次期のレクリエーション等の活動に反映させ、企画実行する
 - ・行った活動、これから企画する活動等を外部にPRするため、相談員が中心となり

日々の写真撮影や、行った活動に対しての効果効用を記録化し、2ヵ月に1回は各地域包括支援センター、各居宅介護支援事業所へFAXを行う事、サービス担当者会議には手持ちの資料として持参し、確認していただく事を実践する

④ 快適に過ごせる環境を作り、活動の質を高める

- ・温かみを感じる家庭的な環境（花がある、明るい、清潔感を感じる）を整備できるよう、日常的な清掃は勿論、毎週1回は清掃強化日を設ける。お客様が利用する施設として各職員が意識できるよう、毎月1回の会議の際には、5S活動についての話し合いを持つ事に努める
- ・常に「笑顔」で接する事を心がける事ができるよう、毎日の朝礼時には「笑顔」を作る練習を取り入れ、そのような場面でも笑顔を忘れない事を、年間を通じ実践していく

⑤ 職員同士の意見が活発に飛び交う職場環境を整える

- ・管理職が中心となり、半年に1回は職員との面談機会を設け、仕事上の悩み事や問題点、疑問点等を抽出し、施設として改善できる相談体制を整備する
- ・毎月1回の会議の中で、全職員が意見を発言しやすい環境を整備できるよう、管理職が中心となり、明るい雰囲気の中で会議に臨むよう意識する

令和2年度稼働目標

年月	登録者平均	平均利用者数	年平均	出席率	稼働率	年稼働
4	36	32	32	90%	72%	72%
5	36	34	33	94%	76%	74%
6	35	34	33	96%	75%	74%
7	38	36	34	94%	79%	75%
8	36	35	34	96%	78%	76%
9	38	31	34	82%	69%	75%
10	38	32	33	84%	70%	74%
11	38	33	33	88%	73%	74%
12	38	34	33	89%	76%	74%
1	38	33	33	86%	73%	74%
2	37	33	33	88%	73%	74%
3	36	33	33	92%	73%	74%